

(様式第2号)

協働推進モデル事業計画書

※記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。
ただし、この企画書はA4サイズ6ページ以内で作成してください。

提案者	提案団体名	NPO 法人岡山ニャンとかし隊 (担当者名 廣畑佐知子)			
	合同提案団体 (協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)				
	協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市保健所衛生課	電話	086-803-1257
		担当	氏名	安原 広己	職名
	氏名		梶原 則夫	職名	
	協働する岡山市の 担当課等と担当者	課名		電話	
担当		氏名		職名	
	氏名		職名		

※以下、箇条書きなどによりできるかぎり簡潔に記載してください。

(1) 事業の目標

①解決を目指す社会問題 または実現を目指す理想	飼い主のいない猫がいなくなることを目指すための具体的対策について検討を行い、命を大切にし、優しさのあふれる人と猫の共生する社会の実現を目指す。
②約3年後に実現を目指す 社会や対象の状況	地域ごとに飼い主のいない猫を管理できるようになり、地域に飼い主のいない猫が増える原因が明らかになり、あらゆる行政の協力のもと、原因別の対策が取れるようになる。 地域猫活動ボランティア制度の一般施策の実現を目指す。
③約2年後に実現を目指す 社会や対象の状況	飼い主のいない猫対策が必要な地域には速やかにパッケージが導入され、繁殖を制限できるようになる。 地域猫活動現場にてボランティアを活用・養成し、ボランティア制度の効果を検証する。
④1年後に実現を目指す 状況	ニーズ調査事業で得られたデータを基に、飼い主のいない猫対策が必要な地域をモデル地域の実践の場とし、対策導入に必要なパッケージと、地域で対策を実行するボランティアを育成する。

<p>① 「④」の実現を阻む要因</p>	<p>① 現行の「地域猫活動」負担が大きく、個人で負いきれない ② 地域に周知と理解を得るための行政による「地域猫活動支援事業」の説明会が提供されていない ③ 地域の T. N. R. を支援するボランティアが不足している ④ 猫の不妊化手術代金の負担が大きい</p>
<p>⑥「⑤」を示す情報又は仮説（調査結果、当事者の声、他地域との比較など）</p>	<p>平成 29 年度市民協働推進ニーズ調査事業で、地域で「地域猫活動」をする場合問題になることについて次の回答が得られている。 ①活動を担う人がいない・活動を主導する人を決められない ②お金がかかる ③地域の理解を得るのが困難</p>

(2) 本事業の内容

<p>⑦「⑤」の中から本事業で解決を目指す要因と事業の内容</p>	<p>(要因) 平成 29 年度市民協働ニーズ調査の結果、参加をためらう理由として、①活動を担う人がいない、②お金がかかる、③地域の理解を得るのが困難という意見が多く挙げられた。また、参加したいという地域で猫の捕まえる方法がわからないという意見が上位にランクインした。これらの問題は、活動の役割を分担化し一人の活動負担を軽減し、助成金の条件を再検討すれば解決できる問題であり、さらに活動が正しく理解されることによって参加意欲が出る問題であると考えられる。したがって、これらの問題を解決し、現行の制度をブラッシュアップし、より市民が参加しやすい環境作りが望まれる。</p> <p>(事業)</p> <p>① 飼い主のいない猫対策を地域で開始できるまでの導入パッケージの作成 →「地域猫活動」がわかりやすく地域で取り組めるために、地域猫活動の説明会を 5 小学校区で行うための資料を揃える。 →本事業に移行後には、行政が管理する地域でも飼い主のいない猫対策が行えるよう行政同士で調整を行う。 →「活動を行う」という言葉に面倒くさいという感覚を持ったり、チラシをみると保健所が掃除もしてくれるのかという意見もあり、市民の共感が得にくい「地域猫活動」という言葉の再検討を行う。例)「地域猫活動」から「飼い主のいない猫対策」 →飼い主のいない猫対策についての住民説明会から T. N. R. (Trap/捕獲し Neuter/不妊去勢手術を行い Return/元の場所に戻す その印として耳先を V 字カットする、世界のノラ猫サイトで共通して出てくる言葉で、ノラ猫問題の推奨される解決方法(2002年11月15日現在))、飼い主のいない猫の管理実践、活動の継続までの業務をたな卸しし、保健所と民間の役割を割り振った上でシステムとして見える化し、地域猫活動概略(パワーポイント)・岡山市の取り組み(パワーポイント)・地域猫活動の手引き(冊子)・猫の捕まえ方(動画)を作成する。 ②地域の飼い主のいない猫対策協力ボランティア団体を育成するために、岡山市でボランティアを募集し、「地域猫活動ボランティア養成講習」を開催する。 →一定の経験や条件を満たした団体は認定ボランティア団体(仮称)とし、本事業に移行後に</p>
-----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>地域が保健所を通じてあるいは保健所が依頼する伴走・代行業を受託できる基礎作りをする。</p> <p>③ニーズ調査事業にて「地域猫活動」への参加希望があった65地域が含まれる5小学校区にて「飼い主のいない猫対策」を開始できるよう、岡山市保健所とともに、地域へ①及び②の支援・協力を実施し、希望があればT.N.R.の伴走を行う。再ブラッシュアップのための事後アンケート調査を行う。</p>
⑧事業の有効性を示す根拠（当事者のニーズ、他地域の成功事例など）	<p>平成29年7月に、東京都練馬区・新宿区・千代田区の活動の視察を行った。それぞれ特色はあるものの、行政・地域・ボランティアの役割分担が明確になっており、それに応じた要綱や制度作りを行い、住民への周知・理解も役割分担を基礎に説明がなされている。このような環境下では、一人が多大な負担を負うことなく、三者が協働することによって無理なく活動でき、課題が放置されず解決に向かう相乗効果を実感した。</p>
⑨提案事業の成果を測定する指標（定量・定性の両方またはいずれか）	<p>モデル地域での住民アンケート調査・地域猫台帳による猫の数の変化を追う。</p>

（3）協働の必要性と実施体制

	提案団体	担当課
事業の役割分担	<p>①説明会開催パッケージを作成する。 →地域猫活動の概要と岡山市での取り組み（パワーポイント・冊子） →地域猫活動実践手引き（冊子） →猫の捕獲方法（動画） →説明会開催チラシを作成する。</p> <p>③ニーズ調査事業にて「地域猫活動」への参加希望があった65地域の小学校区での説明会に参加する。実際の活動内容や捕獲の方法について説明する。必要があれば、T.N.R.の伴走を行う。</p> <p>④地域猫活動養成講座に参加する。 活動の基礎習得を行い、その後捕獲器の使い方を説明します</p>	<p>①ニーズ調査事業にて「地域猫活動」への参加希望があった65地域が含まれる5小学校区での説明会を開催する。該当地域の町内会長への連絡を行い、市政だよりや公民館などを通じて説明会開催参加の広報を行う。 説明会で助成事業と取り組みについての説明を行う。 岡山市での取り組みパワーポイントを提供する。 説明会終了後の相談窓口となる。 再ブラッシュアップのための事後アンケート調査を行う。</p> <p>②地域猫活動の地域への協力者を養成するために地域猫活動養成講座を開催する</p> <p>③地域猫台帳を地域から提出を促し、集計して頭数の推移を統計する</p>
役割分担の理由（それぞれが持つ経験、実績、情報、当事者性など）	<p>地域猫活動モデル事業から地域猫活動に参加</p> <p>平成29年度市民協働推進ニーズ調査事業で岡山市保健所とともに所有者のいない猫に関するアンケート調査実施。</p> <p>東京都3地区の先進地視察を行った。</p> <p>現在岡山市内で岡山市地域猫活動指定団体とし</p>	<p>地域猫活動支援事業主催課</p> <p>平成29年度市民協働推進ニーズ調査事業で所有者のいない猫に関するアンケート調査参加 今後、動物愛護活動に関して市民の啓発・参加を高める役割を担う。 多様な行政機関と連携が可能。</p>

	て12団体が活動中 来年度は瀬戸内市での活動も広げる予定	
協働効果を高めるための工夫（目的や情報共有の方法など）	月1回企画会議を行い、情報を共有し、常に企画の見直しを図る。	

その他に連携が必要と思われる対象と期待する役割（あれば記載）	名称	役割

（４）事業スケジュールについて

※自由に枠を追加・結合・分割してご記入ください。

時期		実施内容など	
5月	上旬	企画会議 現存資料データ提供	現存資料を持ち寄り、パワーポイントと冊子資料の構成を検討する
	中旬	パワポ・冊子資料作成	
	下旬	企画会議	進捗度報告 動画作成打ち合わせ
6月	上旬	パワポ・冊子資料資料作成	
	中旬	パワポ・冊子資料資料原案完成	
	下旬	企画会議	パワポ・冊子資料原案の検討
7月	上旬	パワポ・冊子資料資料修正	パワポ・冊子資料の修正
	中旬	パワポ・冊子資料資料修正	パワポ・冊子資料の修正
	下旬	企画会議	パワポ・冊子資料・動画の完成 説明会開催日程の調整 地域猫活動者養成講座準備物確認
8月	上旬	企画会議 説明会開催日程発表	説明会役割分担打ち合わせ 地域猫活動養成講座役割分担打ち合わせ 説明会広告開始
	中旬		
	下旬	第1回説明会開催・アンケート実施・回収 企画会議	幡多学区（三軒・旭東）：東公民館 振り返り・次回への準備
9月	上旬	幡多学区伴走 地域猫活動者養成講座詳細発表	T.N.R.の伴走 地域猫活動者養成講座広告開始

(様式第3号)

協働事業収支予算書

提案事業名	地域猫活動の普及啓発事業
-------	--------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金		
	合同提案 団体負担金等		
自己資金合計 (a)		0	
事業収入			
事業収入合計 (b)		0	
岡山市補助金申請額 (c)		1,800,000 円	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		1,800,000 円	

<支出>

費目		金額	内訳
事業 実施 経費	人件費	300,000 円	1,500 円×200h×1 名（手引き・チラシ・パ ワーポイント作成・動画出演など）
		45,000 円	1,000 円×3h×3 名×5（説明会同行）
		9,000 円	地域猫活動者養成講座出席 1,000 円×3h×3 名×1 回
	報償費		
	旅費（交通費）	10,000 円	説明会参加交通費 距離×@50 円
	活動者養成費	400,000 円	捕獲～リリースまでの伴走 20,000 円/回×20 回
	印刷製本費	136,000 円	活動説明冊子作製費（カラー8P/500 部）
		300,000 円	活動の手引き作製費（カラー32P/100 部）
		300,000 円	猫の捕まえ方動画作製費
	消耗品費	30,000 円	用紙、文具代
事業実施経費合計（e）		1,530,000 円	
管理 運 営 経 費	人件費	120,000 円	1,000 円×2h×3 名×20（企画会議）
		150,000 円	1,000 円×150h×1 名（連絡・調整等）
管理運営経費合計（f）		270,000 円	
総事業費（g）＝（e）＋（f）		1,800,000 円	

（添付書類等）

- ① 人件費等については、積算の根拠（これまでの実績や独自の単価表）を添付すること
- ② 参加料などの事業収入を見込む場合は「事業収入見込」欄に計上すること

団体の概要書

団体名	(ふりがな) えぬぴーおーほうじんおかやまにゃんとかしい NPO法人岡山ニャンとかし隊							
所在地	〒700-0866 岡山市北区岡南町1-3-20							
代表者職・氏名	(役職) 代表理事	(ふりがな) ひろはたさちこ (氏名) 廣畑佐知子						
事業担当者	(役職) 代表理事	(ふりがな) ひろはたさちこ (氏名) 廣畑佐知子						
	電 話	090-4578-7671			F A X			
	E-mail	okayama@nyantkashitai.org						
活動開始年月日	2015	年		9	月			
活動期間	2	年	6	か月	(平成30年3月末日現在)			
設立年月日	2015	年		9	月			
団体の目的	この法人は、地域に暮らす人々に対して、地域猫活動に関する事業を行い、地域の団体と協力して動物の適正な管理をすることによって、人と動物の快適な生活をめざすまちづくりに寄与することを目的とする。							
主な活動(事業)	①地域猫活動支援事業 ②地域コミュニケーションの構築事業 ③地域猫活動の普及・助言事業 ④その他目的達成に必要な事業							
組 織	正会員数		16人		賛助会員数		31人	
	役員数	5人	職員数	常 勤	0人	内 有 給	0人	
	内 有 給	0人		非 常 勤	0人	内 有 給	0人	
主な活動地域	岡山市・瀬戸内市			会員の入会条件		なし		
事業の規模 (実施回数)	<input type="checkbox"/> ほぼ毎日		<input checked="" type="checkbox"/> 毎週 5回		主な対象者		岡山市民	
	<input type="checkbox"/> 毎月 回		<input type="checkbox"/> 年 回		参加者数(年間延べ)		1,000 人	
団体の財政状況	経常収入	会費	115,000円	事業収入	円	収入合計	1,216,534円	
	経常収益	寄付金	642,602円	その他	458,932円			
	経常支出	事業費	1,160,039円	管理費	円	支出合計	1,164,109円	
	経常費用	管理費	4,070円					
資産・負債	資産	150,592円	負債	0円	正味財産計	150,592円		
広報関係の有無	会報・広報誌		<input checked="" type="checkbox"/> 有(年1回発行)				<input type="checkbox"/> 無	
	ホームページ		<input checked="" type="checkbox"/> 有(URL: https://nyantokasitai.jimdo.com/)				<input type="checkbox"/> 無	
	ホームページで公表している情報にチェックを入れてください。							
<input type="checkbox"/> 事業報告		<input checked="" type="checkbox"/> 決算書		<input checked="" type="checkbox"/> 活動状況		<input type="checkbox"/> その他()		
過去の協働事業や助成金、委託を受けた実績(企業や大学については公益活動についてのみ記載)	※これまでに岡山市や他の行政機関から事業を受託したことがある場合は、事業名・委託契約先名・受託時期を、また、これまでに岡山市や他の行政機関、民間団体等から助成金を受けたことがある場合は、名称、助成団体、金額、時期等を記入してください(過去5年間程度)。 第7期事業指定プログラム みんなでつくる財団おかやま 17万3千円 平成28年3月 中国ろうきんNPO 立上げ資金 中国労働金庫 5万円 平成28年3月 2016年度国内助成プログラム「しらべる助成」 トヨタ財団 100万円 平成29年4月 平成29年度市民協働推進ニーズ事業補助金 岡山市 20万円 平成29年5月							

※所属する法人・団体毎に記載してください。組織・財政状況等は前年度末時点のものを記載してください。(該当しない部分は空白で結構です。)

※次の資料を添付してください。①役員名簿 ②団体の定款・規約・会則等 ③前年度活動報告及び活動(収支)計算書 ④その他団体の内容がわかる資料